

日本の食の安全特別コース

日本の食の安全特別プログラムの現状と展望

前回は引き続き、コロナ禍の話から始める事をお許しください。香川大学では、第1波から第2波の間に、10月以降の教育方針について議論をして参りました。大学でクラスターを作らず、留学生を入学させ、共学を継続する方法が無いかと模索をした結果、遠隔講義を進めてきた自信から、海外に住居を構えながら、香川大学大学院日本の食の安全特別コースに入学して頂く事を決断しました。入管の手続きなども事務の協力を得て、早めに進めて参りました。幸い、国費留学生は先に国の入国許可があり、成田空港周辺にて手厚い対応を頂き、ようやく香川大学に留学生が集まってきました。次は私費留学生の渡日をなんとか達成して、全ての留学生が香川大学周辺で遠隔授業や研究等をスタートして頂きたいと願っております。

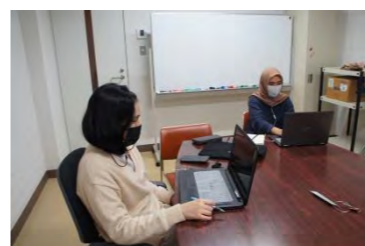
また、今年度から国費留学生の語学要件が高度な英語や日本語会話を求められるようになったため、食の安全特別コースでも見直しを図り、入学時にはN4レベル相当の日本語資格を有すること、半年後の進級時にはN3レベル相当の学生のみ専門科目の履修を許可するなど非常に高いハードルを設定しました。就職時にはN2レベル以上の日本語資格を有する学生がほとんどになり、企業にて活躍しやすい環境を整えています。そのため、留学生には、日本語学習をこれまで以上に徹底的に行ってもらえるプログラムに致しました。この改革が今回のコロナ禍にて、母国での入学を可能にするきっかけとなりました。素早い対応が功を奏した形になりました。

現在、海外大学の学生の放課後の時間などを活用し、本コース説明会や農学研究科の教員の紹介紹介などの活動を行っており、数名の学生が本コースへの入学を希望しております。また、十分な学生が集まっており、企業の方の希望も、研究などで大学での勉学を考えている方がおりました。本コースを「紹介していただくと非常に嬉しいです。切に求めれば、その時その時に合った対応策はあるものだ」と楽観的に考えております。コンソーシアム企業、賛助会員の企業の皆様におかれましては、引き続き、本コースにご理解とご協力をお願い致します。(田村教授)

第12期生の渡日状況について

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2020年3月中旬から全世界からの留学生などの日本への入国が停止されていきました。2020年11月現在、まだ、新型コロナウイルスに対する有効なワクチンはなく、治療薬も限定的で、これらの開発実用化にはもうしばらくの時間が必要状況にあります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症に関する知見も増え、対応策も見えてきており、重症患者や死亡率はかなり低下傾向を示してきました。

そこで、政府は8月下旬にまず国費留学生の早期入国を開始する方針を発表しました。本プログラムでは10月7日にリモート入学式を挙行し、新たに入学した12期生6名のうち3名の国費留学生が出国前PCR検査で陰性であることを確認後、10月中旬に渡日しました。その後、成田空港周辺のホテルでの14日間の健康観察を経て、10月30日と11月1日に香川に来ることができました。留学生は健康観察中も遠隔による日本語の講義を受講していました。3名は皆元気で、11月から香川大学での留学生生活を開始しました。また、私費留学生に関しても10月から入国が可能となり、香川大学インターナショナルオフィスが中心となって受入体制を整備し、現在、留学生と連絡を取りながら、具体的に入国準備を進めている段階です。順調に進めば、12月中旬に渡日し、ホテルでの14日間の健康観察後、年内または年始には、香川に到着できる見通しです。なお、ホテルでの14日間の健康観察の宿泊費に関しては、香川大学寄附金及び本プログラム寄附金から一時支援金を支給することで、私費留学生に大きな経済的負担をかけないようにしたいと考えております。早く12期生6名全員が揃って香川大学での留学生生活を始めることを期待しています。(川村国際交流委員長)



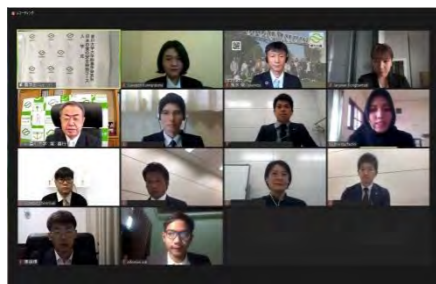
先に渡日した国費の3名とまだ本国にいる私費の3名が幸町キャンパスの授業を遠隔で受ける様子

Report

第10期生修了式・第12期生入学式



2020年9月16日 第10期生修了式



学長より入学生へオンラインにて祝辞



2020年10月7日 第12期生入学式

令和2年9月16日(水)香川大学農学研究科において関係者ご列席のもと、第10期生の修了式が執り行われました。今回は新型コロナウイルス感染症の影響で限られた列席者となりましたが、感染対策を行いながら対面での式典を催すことができました。算学長より9名の修了生に学位記が授与され、門出のお祝いとあたたかい激励の言葉も贈られ、修了生一同新たな旅立ちへの喜びを感じておりました。9名全員それぞれに就職も決まり、今後の実社会での活躍が大いに期待されます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で入学自体が危ぶまれた第12期生6名も正式に入学が認められ、香川大学農学研究科において10月7日(水)にオンラインにて入学式が執り行われました。新入生には算学長、深井研究科長より歓迎と激励の言葉をいただき、来賓の四国経済産業局松原様、本コース4期修了生の株式会社ニチレイフーズキクチ様からも心温まるご祝辞を頂きました。初めての日本式の式典への出席もオンラインでの実施となり、新入生は緊張し、「戸惑いながらもお祝いの言葉に励まされ新たな一歩を踏み出したことを実感しているようでした。最後に新入生代表のりなさんから、これから始まる日本での新生活に向けての力強い決意表明がありました。(樋口特命教授)

Profile

第12期生の紹介

今年度は、3ヶ国から6名の新入生を迎えました。それぞれが、これらの抱負を胸に目標に向かって取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



- ①チンスリスク ナッタパット
- ②CHINSRISUK, Nattapat
- ③マーク
- ④カセサート大学卒
- ⑤タイ出身



⑥日本語と研究を一生懸命頑張り、将来のために経験を積みたいと思います。よろしくお願いいたします。



- ①チン ジョキ(陳 徐輝)
- ②CHEN Xuhui
- ③チン
- ④浙江工商大学卒
- ⑤中国出身



⑥日本の食の科学と日本文化を勉強するためにこのコースに入学しました。将来は日本の食品関連会社で働きたいです。



- ①ウイチャクソノ アルフォンス アディ
- ②WICAKSONO, Alfonsus Adi
- ③アディ
- ④ガジャマダ大学卒
- ⑤インドネシア出身



⑥昔から日本で勉強したいという夢があったので本コースに受け入れられて本当に感動しました。将来、私は日本の食品会社で働きたいです。



- ①コンバンタッド ジャルワン
- ②KONGBANTAD, Jarawan
- ③ジャー
- ④チュロンコン大学卒
- ⑤タイ出身



⑥私は日本語と食の安全の知識を生かして将来、自分の仕事に責任を持ちたいと思っています。これから一生懸命勉強して頑張ります。



- ①ヌーフアチリ ニスリナ
- ②NURFACHRI, Nisrina
- ③リナ
- ④ポゴール農業大学卒
- ⑤インドネシア出身



⑥日本で進学や就職する事は私の夢でした。そのため、主に専門的な知識を身に付けることや日本語能力を高めることに挑戦しています。



- ①クンナラッタナ スワピス
- ②KUNNARATANA, Suwapith
- ③ルアン
- ④チュロンコン大学卒
- ⑤タイ出身



⑥これから、日本語と社会的責任を学び、講義と実験を頑張ります。多くの知識と経験で日本の食品業界に貢献したいと思います。

- ①フリガナ
- ②氏名
- ③ニックネーム
- ④最終学歴
- ⑤出身国
- ⑥今後の抱負